２０１８年４月２４日
東京電力ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ株式会社
福　島　復　興　本　社

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○ トピックス１ 福島復興本社 新復興推進体制のご紹介 ―― １
○ トピックス２ 広野IGCC起工式 ―― １
○ トピックス３ 福島県産品販売促進に関する取り組み ―― ２
○ 原子力損害賠償の進捗状況 ―― ３ ～ ５
○ 除染等推進活動状況 ―― ６ ～ ７
○ 復興推進活動状況 ―― ８ ～ 10

【トピックス1】　福島復興本社　新復興推進体制のご紹介

- 2018年4月1日より、福島復興本社の陣容が新しくなりました。
- 復興が進み、ひとりでも多くの皆さまにご帰還いただけるよう、より一層地域の皆さまに寄り添った活動を加速させてまいります。
- 「福島への責任を果たす」ことが我々の使命であり、原点であることをしっかりと胸に刻み、これからもグループ一丸となり、新たな体制のもと私自身も含め各部長・室長が、それぞれの役割をしっかりと担うことで、福島への責任を果たしてまいります。

復興調整部：
国、自治体と連携した復興本社の施策、地域の皆さまからのご要望への対応策の立案等を担います。

復興調整部長兼
ふくしま流通促進室長
向山 稔浩

ふくしま流通促進室：
福島県産品の販路開拓・購入促進に向けた取り組み等を担います。

福島原子力補償相談室：
迅速かつ円滑なお支払いに向けた賠償業務を担います。

福島原子力補償相談室長
内田 正明

福島復興本社代表
大倉 誠

福島復興のため、新体制一同、
全力を尽くしてまいります。

復興推進室：
ご帰還に向けた屋内片付け・除草など、復興推進業務を担います。

復興推進室長
岡村 毅

除染推進室：
国・自治体による除染後のフォロー・中間貯蔵事業・環境回復等に対する人的・技術的支援業務を担います。

除染推進室長
武藤 昭一

福島広報部：
福島第一原子力発電所の廃炉や、賠償・除染・復興推進等の状況の広報業務を担います。

福島広報部長
石崎 年博

【トピックス2】　広野IGCC起工式

- 福島県広野町における世界最新鋭のIGCCの建設・運営することにより、雇用の創出や商圏の回復を通じて、福島復興に貢献してまいります。

（運転開始時期：2021年9月予定）

Hirono
IGCC Power

広野IGCCパワー合同会社主催 起工式の様子
（2018年4月13日）

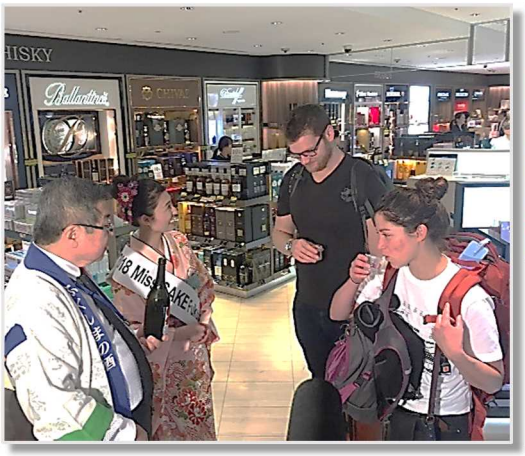
【トピックス3】　福島県産品販売促進に関する取り組みについて

- 昨年12月より当社は、東京国際空港ターミナル株式会社(TIAT)様、成田国際空港株式会社(NAA)様および福島県酒造組合様と福島県産酒のお取り扱いについて、福島県にも相談のうえ、協議を重ねてまいりました。
- その結果、本年4月より、福島県酒造協同組合の蔵元様による特別試飲キャンペーンが、両空港の免税店において開催されることになりました。「ふくしまのお酒」に限定したキャンペーンの開催は今回が初めて。
- キャンペーン当日は、生産者である蔵元様に、福島県産日本酒の魅力を世界に発信していただきました。

取り組み

■羽田空港免税店において「ふくしまのお酒」特別試飲キャンペーンの実施(4月～6月)

＜第1弾キャンペーンの様子＞



中央:福島県酒造協同組合理事長
末廣酒造(株) 新城 猪之吉 社長
右:末廣酒造(株)　八木 周作 様
左:ミス日本酒福島代表・準グランプリ
堀井 雅世 様

＜第1弾キャンペーン銘柄＞

末廣酒造様

大吟醸
玄宰

大吟醸
剣

純米大吟醸
ゆめのかおり

内　容：福島県産日本酒の試飲・販売等
主　催：福島県酒造協同組合の蔵元様
場　所：羽田空港国際線旅客ターミナル3階 出国後エリア
「 TIAT DUTY FREE SHOP（CENTRAL）」前キャンペーンブース

	出店蔵元	予定銘柄	日時
第一弾	末廣酒造	大吟醸 玄宰、大吟醸 剣、純米大吟醸ゆめのかおり	2018年4月19日（木）～22日（日） 8:00～15:00
第二弾	笹の川酒造 渡辺酒造本店	純米大吟醸 開成、天のつぶ 昔仕立て純米酒 他 雪小町大吟醸五十一号 袋吊り	2018年5月3日（木）～5日（土） 8:00～15:00
第三弾	大七酒造	純米大吟醸 頌歌、純米吟醸 真桜	2018年5月初旬
第四弾	人気酒造	人気一大吟醸	2018年5月中旬
第五弾	大七酒造	純米大吟醸 頌歌、純米吟醸 真桜	2018年5月下旬
第六弾	奥の松酒造	大吟醸雫酒 十八代伊兵衛	2018年6月下旬

■成田空港免税店において「ふくしまのお酒」特別試飲キャンペーンの実施(4月・6月)

- 成田国際空港第2ターミナルの3階ナリタ5番街（出国審査後エリア）「Fa-So-La TAX FREE AKIHABARA」においても、同様に福島県産日本酒の試飲キャンペーンを展開中
  【出店】 大七酒造㈱：4月13日～22日　、　奥の松酒造㈱：6月予定

今後の展開

- 5月・6月も特別試飲キャンペーンを予定しています。
- 引き続き、福島県の皆さまをはじめとする関係者の方々からご意見を伺い、福島県産品の流通拡大に向けた取り組みを推進してまいります。

原子力損害賠償の進捗状況について

＜原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績＞

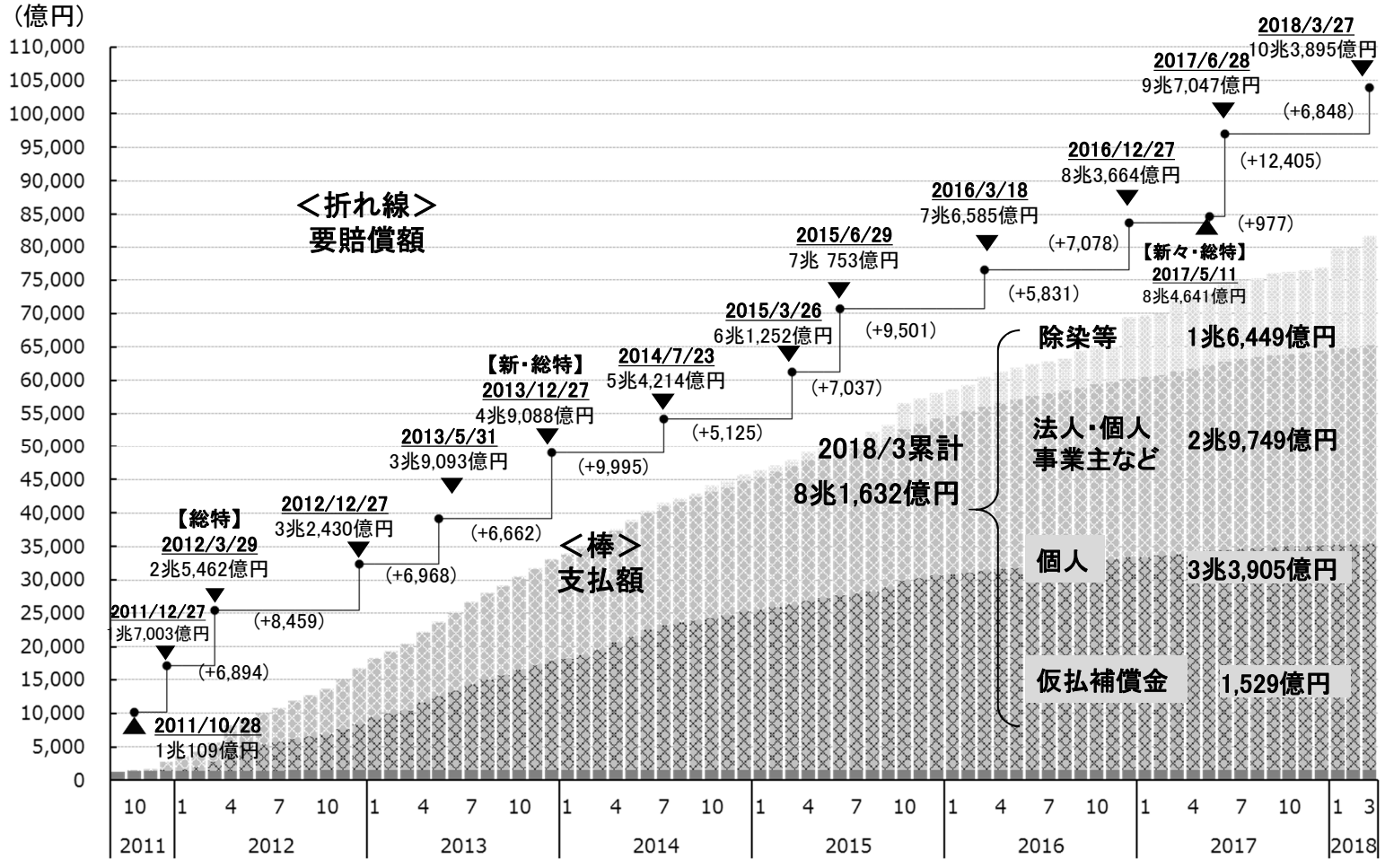
2018年4月6日現在

	個人　※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数（延べ件数）	約2,361,000件	約475,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数（延べ件数）	約2,242,000件	約410,000件
本賠償の金額　※2	約3兆3,926億円	約4兆6,227億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額　※2	約8兆0,152億円 ①	
仮払補償金	約1,529億円 ②	
お支払い総額	約8兆1,681億円 ①＋②	

※1　個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2　仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

＜賠償支払額及び要賠償額の推移＞



＜賠償項目別の合意金額の状況＞

	要賠償額〈A〉 （3/27資金援助額変更申請）	合意いただけた実績※1〈B〉 （2018年3月末現在）
Ⅰ．個人の方に係る項目	**20,598億円**	**19,621億円**
検査費用等	3,352億円	2,640億円
精神的損害	10,967億円	10,742億円
自主的避難等	3,626億円	3,626億円
就労不能損害	2,652億円	2,612億円
Ⅱ．法人・個人事業主の方に係る項目	**29,657億円**	**28,127億円**
営業損害	5,258億円	5,076億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	17,781億円	17,232億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,084億円	2,278億円
間接損害等その他	3,532億円	3,540億円
Ⅲ．共通・その他	**20,917億円**	**17,444億円**
財物価値の喪失又は減少等	14,756億円	13,583億円
住居確保損害	5,910億円	3,611億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
Ⅳ．除染等※2	**32,721億円**	**16,449億円**
合計	**103,895億円**	**81,643億円**

※1　振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。　【B／A　79%】
※2　閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

＜ご案内を開始している主な賠償項目＞

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月：個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害　等	9月：法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害　等
2012年	2月：自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月：建物の修復費用等に係る賠償	2月：自動車に対する賠償 12月：償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月：宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月：田畑に係る賠償	3月：宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月：田畑に係る賠償
2014年	1月：精神的損害（要介護者さま等への増額）に係る賠償 3月：移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月：住居確保に係る費用の賠償 7月：墓石等の修理に係る賠償 9月：宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月：宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月：家財の個別賠償 3月：福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月：墓石等の移転に係る賠償 6月：避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月：避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月：新たな営業損害賠償等
2016年	2月：住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し	12月：農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月：住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し	12月：平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月：移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の 賠償のお取り扱い 3月：2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の 賠償のお取り扱い	

＜ADRの対応状況＞

2018年4月13日現在

申立件数		23,608件
解決件数		21,910件
	全部和解件数	17,883件
	取下げ件数	2,291件
	打切り件数	1,735件
	却下	1件
現在進行中の件数		1,698件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは23,546件（3月30日現在）
※当社に送達された件数は月平均で約139件（平成29年度）
※現在進行中の件数のうち、102件は一部和解が成立している
※和解金額は約2,954億円

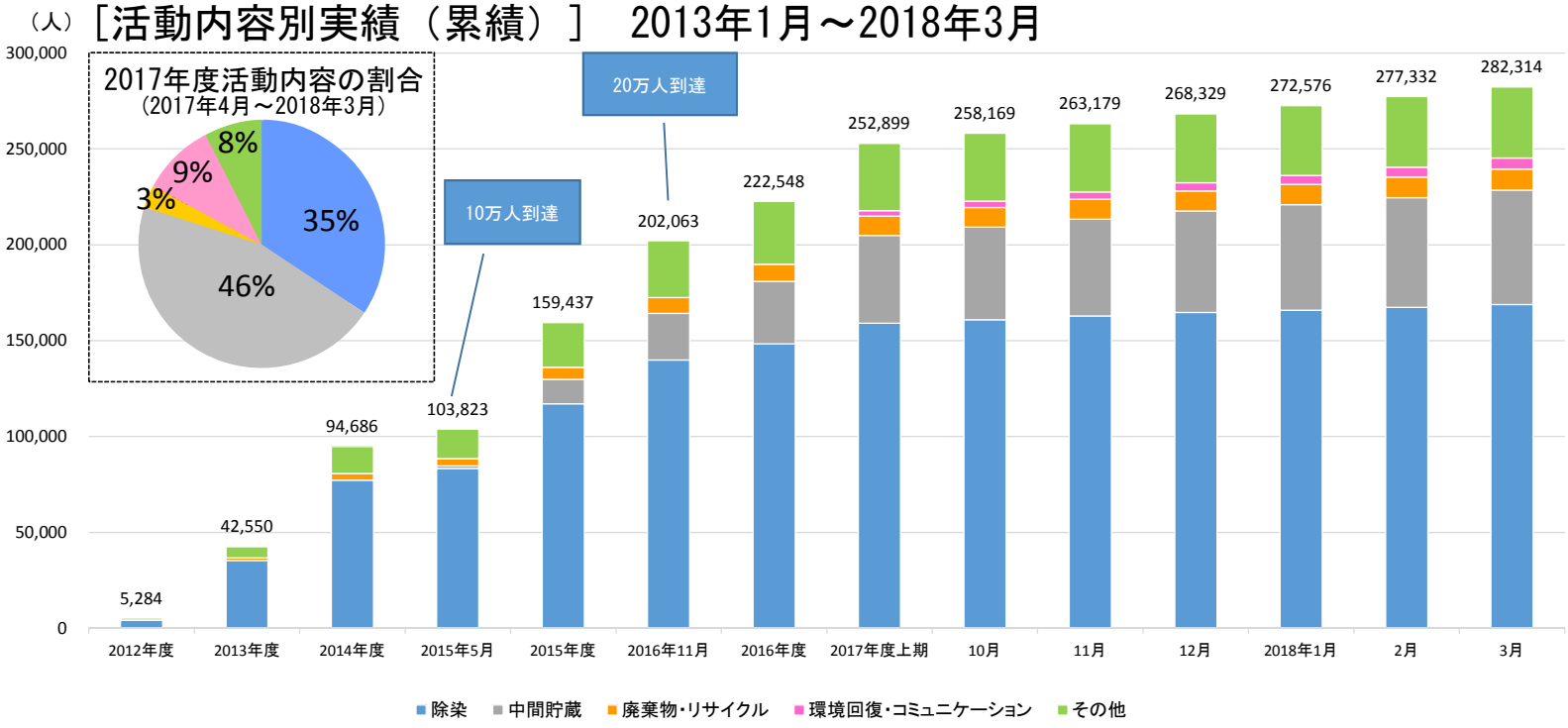
除染等推進活動実績

3月の活動実績

除染	中間貯蔵	廃棄物・リサイクル	環境回復・コミュニケーション	その他
				除染・中間貯蔵施設等に関する国・自治体との打ち合わせ等
1,540人（31%）	2,442人（49%）	117人（2%）	549人（11%）	334人（7%）

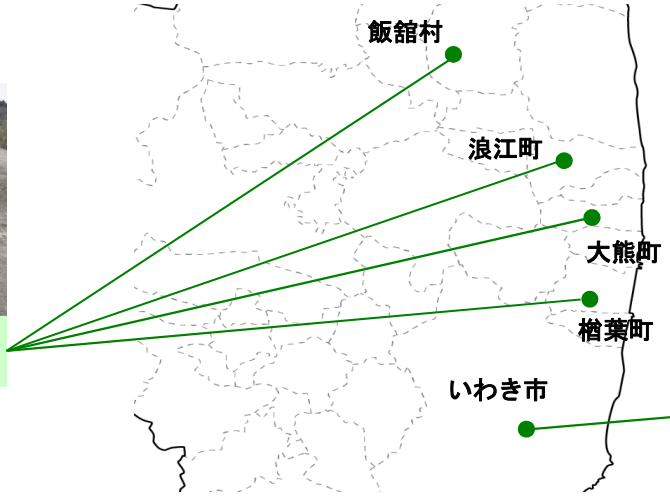
3月の活動実績合計	4,982人
復興本社設立（2013年1月）からの累計	282,314人

［活動内容別実績（累積）］ 2013年1月～2018年3月



至近の主な取り組み

仮置場の原状回復に向けた対応



除去土壌等の輸送業務に関する研修会の講師対応

除染等推進活動実績

仮置場の原状回復に向けた対応

実施時期	2017年8月29日～　　※継続中
実施場所	楢葉町、浪江町、飯舘村、大熊町
実施人数	社員　延べ151人（2018年3月末日時点）
実施内容	環境省からの要請により、除去土壌等の搬出が完了した仮置場の原状回復に向け、仮置場跡地の空間線量率や表面汚染密度、表土中の放射性物質濃度の測定等に協力

空間線量率の測定状況

表土中の放射性物質濃度の測定状況

除去土壌等の輸送業務に関する研修会の講師対応

実施時期	2018年3月5日～6日
実施場所	いわき市
実施人数	社員　延べ5人
実施内容	環境省からの要請により、平成30年度の大量輸送を安全かつ効率的に実施するため、輸送業務に携わる環境省職員向けの研修会において、当社社員が机上研修の講師として協力

研修会（机上）の実施状況

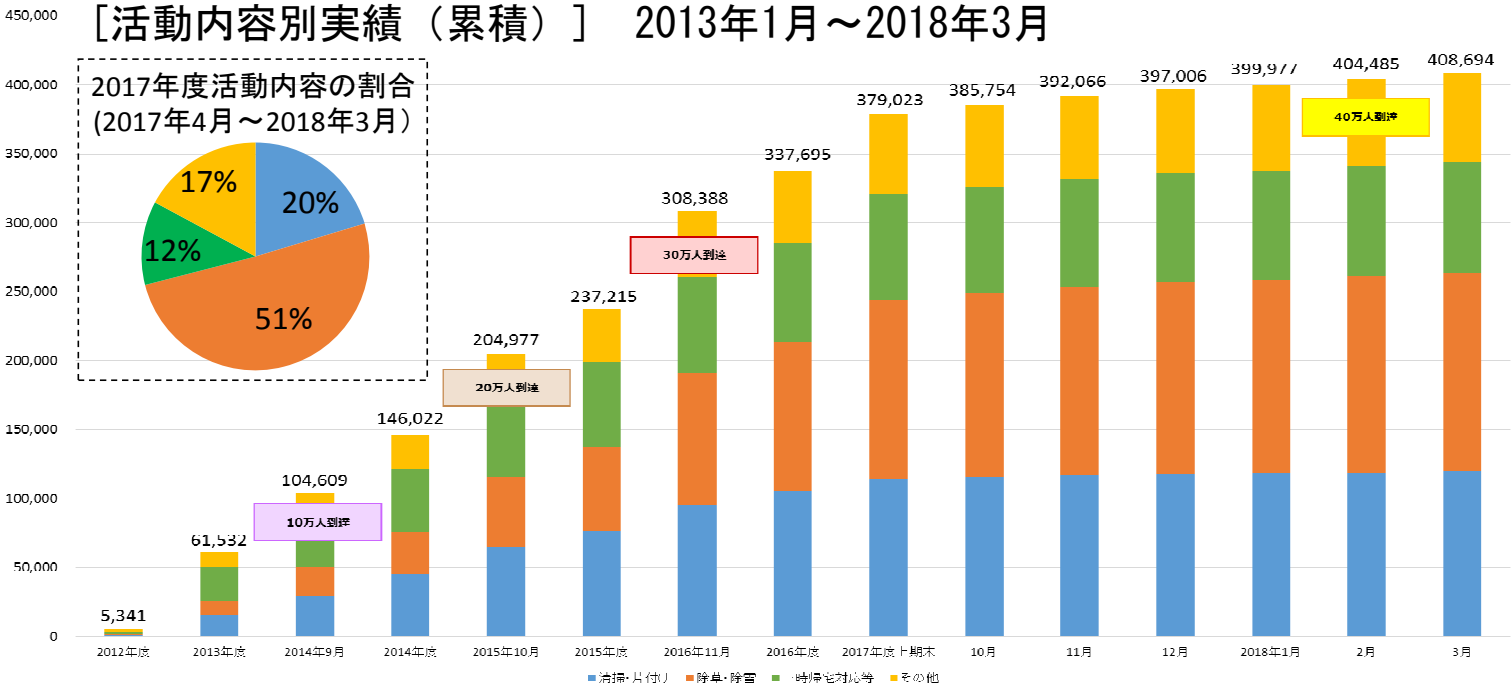
研修会（現場見学）の状況

復興推進活動実績

3月の活動実績

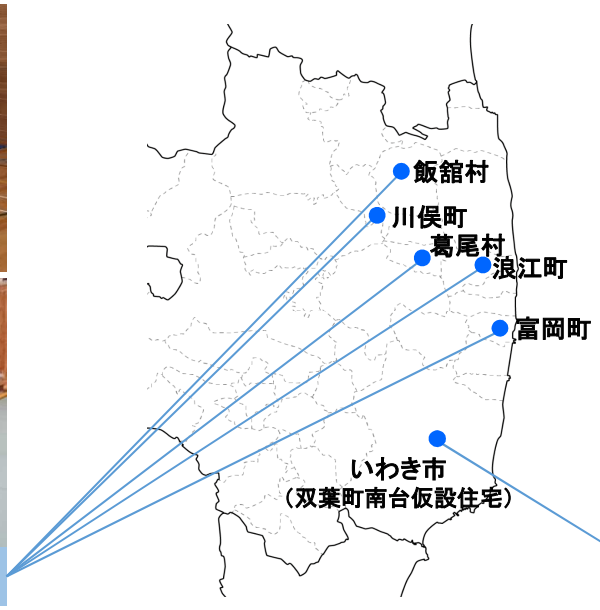
清掃・片付け（屋内清掃・大型家財搬出等）	除草・除雪（町道・住宅進入路・公共施設等）	一時帰宅対応等	その他（イベント運営補助・介護研修会等）
1,047人（25%）	1,567人（37%）	689人（16%）	906人（22%）

3月の活動実績合計	4,209人
復興本社設立（2013年1月）からの累計	408,694人



至近の主な取り組み

学校再開に向けた協力



いわき市（双葉町南台仮設住宅）
「SONG OF THE EARTH FUKUSHIMA」への協力

学校再開に向けた協力

実施時期	2017年4月～2018年3月
実施場所	富岡町、浪江町、葛尾村、川俣町、飯舘村
実施人数	社員　延べ600人
実施内容	各町村内での認定こども園や小中学校の再開に向け、清掃・片付け、除草、荷物運搬および関係式典等における駐車場での車両誘導に協力

＜活動の様子＞

荷物運搬の様子［2018年3月15日撮影］
【川俣町　山木屋小中学校】

駐車場誘導の様子［2018年3月4日撮影］
【飯舘村　認定こども園・飯舘小中学校　内覧会】

清掃の様子［2018年3月22日撮影］
【浪江町　なみえ創成小中学校】

荷物運搬の様子［2018年3月27日撮影］
【葛尾村　葛尾小中学校】

双葉町南台仮設住宅「SONG OF THE EARTH FUKUSHIMA」への協力

実施時期	【イベント】2018年3月11日 【復興推進活動】2018年3月7日、11～12日
実施場所	いわき市（双葉町南台仮設住宅）
実施人数	社員　延べ21人
実施内容	双葉町南台仮設住宅にて開催されたイベント「SONG OF THE EARTH FUKUSHIMA」において、駐車場の整備および車両誘導に協力

＜活動の様子＞

駐車場整備の様子［2018年3月11日撮影］

駐車場整備の様子［2018年3月11日撮影］

駐車場誘導の様子［2018年3月11日撮影］

当日の様子［2018年3月11日撮影］